



蔵の街高校生ボランティアスクール 参加者募集

対 象：市内に在住または通学している高校生

定 員：80 名 ※定員を超えた場合は抽選

申込締切：7月8日（月）

★募集案内は、市内の各高校に配布するほか、くららの館内やホームページでも見られます。

7.29 (月)	14:00 ～16:00	開講式・オリエンテーション 活動場所の内容説明
きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 1 階大交流室		
7.30 (火)	各体験場所での活動（原則 2 日間） ～8.23 (金)	※詳細は募集案内をご覧ください。
8.24 (土)	閉講式（ふりかえり）を企画中	

市民活動推進講座

任意団体でどこまでできるの？

法人化しなくても任意団体でどこまで活動を広げられるのか、お金の取り扱いや保険など様々な疑問や悩みにこたえる講座です！

日 時：7月20日（土）14:00～16:00

場 所：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館
1 階大交流室

講 師：町田英俊さん（とちぎボランティア
NPO センターぽ・ぽ・ら センター長）

講座レポート 令和6年度市民活動推進講座 第1回
市民活動団体向けユースワーク講座

くららで話そ！

私の第2の人生



アメリカ留学経験や現在の音楽活動など多彩な活動についてお話しいただきます。

日 時：6月17日（月）18:30～20:00

場 所：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 1 階交流スペース
ゲスト：小島正さん（音楽を楽しむ会）

くららの SNS



Facebook



X



Instagram



くららに来て、みんなで話そ！
参加無料・予約不要・お気軽に！

「くららで話そ！」

報告

第 319 回 ふたご育児支援を広げよう 4 月 25 日（木）18：00～19：30

ゲスト：南部裕子さん（NPO 法人とちぎ多胎ネット）



栃木は昔から多胎が多い県で、ふたごの生まれる確率が全国の中でも高い。
多胎育児を行っている家庭の虐待発生率は単体児の 2.5～4 倍多い。それだけ
育児をしている人が孤立し、助けを必要とする状況に陥っている。

多胎妊娠の場合、一人よりもリスクが大きいため管理入院をすることが一般的。低体重で産まれたり、管理入院で母親自身の体力が落ちてしまったりとふたご育児特有の大変さがある。不妊治療をしている方で多胎妊娠をする方が多く、喜びも大きい一方で予想外の大変さに見舞われる。つわりが多かったり、医師から安静にしているように言われるため、思うように家事ができないこともある。ミルクを飲ませるのもふたり分なので、寝る暇がなかった。また、ふたごのベビーカーは幅が広いため、移動できる場所が限られる。一人で外出しにくいところから、孤立しやすくなる。

自身がふたご育児を経験するなかで、妊娠期から育児のイメージを持ってもらう必要を感じていた。妊娠期から関わり、先輩パパママとつながる機会をつくっている。栃木市のピアサポーターとして交流会や赤ちゃん訪問に参加している。多くの多胎育児をしているパパママとつながり、妊娠期から切れ目のない支援を行っていきたい。11 月には、栃木県で多胎支援事業推進を目的とした全国フォーラムにパネリストとして参加し、多胎育児支援の重要性を訴えたい。



助成金情報



社会福祉法人栃木県共同募金会

赤い羽根おうえんプロジェクト

社会課題や自団体の活動についての広報・啓発を行い、共感や応援と寄付を募る取り組みです。

対象団体：非営利団体（法人格の有無は問わない）

配 分 額：赤い羽根共同募金の募金運動（令和 7 年 1 月～3 月中）のなかで、参加団体が主体的に募金運動を展開し、集めた寄付金の全額とそれに応じた加算金を配分します。（10 団体程度）

対象期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 ※募金運動後の活動期間となります。

応募締切：2024 年 6 月 28 日（金）

問 合 せ：栃木県共同募金会 TEL 028-622-6694



読売光と愛の事業団

子ども育成支援事業

子どもたちがその環境などに左右されずに、健全に育つように支援活動をしている団体を助成します。

対象活動：貧困家庭の子どもや親に対する支援、子どもの居場所づくり、不登校の親に対する支援など

対象団体：3 年以上の継続的な活動実績がある団体（法人格の有無は問わない）

助 成 額：上限 50 万円（総額 600 万円）

応募締切：2024 年 7 月 5 日（金）

問 合 せ：読売光と愛の事業団 TEL 03-3217-3473





登録団体からのお知らせ・イベント情報



栃木市子ども食堂ネットワーク

食品＆食事配布会のお知らせ

市民の皆様や農家の方々、社会福祉協議会様などからのご寄付、フードドライブなどで集まった食材の配布会を行います。

日 時：6月11日（火）16：00～19：00

場 所：ふれあいコープ特別養護老人ホームかたやなぎ

内 容：食材配布、食事提供

問合せ：認定 NPO 法人蔵の街たんぽぽの会

TEL 0282-24-9833

太平山麓九条の会

講演会「実際にあったこと、朝鮮人の虐殺」

— 栃木県の場合 —

広島県内での高校教員時代から朝鮮人強制連行の調査活動を行っている内海さんが、栃木の朝鮮人虐殺の調査に基づいてお話しされます。

日 時：6月16日（日）13：30～15：00

場 所：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 研修室 2

講 師：内海隆男さん

内 容：関東大震災虐殺— 栃木県の場合 —

問合せ：太平山麓九条の会

TEL 0282-22-7079

西方音楽館友の会

国枝俊太郎「笛の旅」

フラウト・トラヴェルソ＆リコーダーを国枝俊太郎、チェンバロを岡田龍之介が演奏します。

日 時：6月16日（日）15：30～

場 所：西方音楽館 木洩れ陽ホール

参加費：大人 4,000 円／学生（25 歳まで）2,000 円

内 容：デ・フェッシュ：ソナタ ト長調

ファン・エイク：美しき娘、ダフネ

（「笛の楽園」より）ほか

問合せ：西方音楽館

TEL 0282-92-2815



蔵の街うたごえ実行委員会

第 51 回 蔵の街うたごえ喫茶

生演奏とともにみんなで歌いましょう♪

日 時：6月23日（日）13：30～15：30

場 所：とちぎ岩下の新生姜ホール 小ホール

参加費：500 円

内 容：さくら貝の歌、この世の花、木綿のハンカチーフ、雪国ほか

問合せ：蔵の街うたごえ実行委員会

TEL 0282-23-3780

栃木市社会福祉協議会

オレンジカフェ DE TOCHICO リサイクル

捨てるのはもったいないし、おさがりをあげるあてもない…。そんなすぐに小さくなってしまおう子さんの洋服を寄付していただき、リサイクル事業を行っています。

日 時：7月2日（火）10：30～11：40

場 所：栃木市社会福祉協議会 西方支所

問合せ：栃木市社会福祉協議会

TEL 0282-22-4457

NPO 法人とちぎ多胎ネット

多胎ぷれふあみりー教室

出産までの様々な不安を一緒に考え、ふたご・みつごを迎え入れる準備をしましょう。

日 時：7月13日（土）10：00～12：00

場 所：オンライン（Zoom）

参加費：無料

内 容：助産師による多胎妊娠と出産の基礎知識

先輩パパからの話

先輩パピママと情報交換

問合せ：とちぎ多胎ネット

tochigi.tatai@gmail.com



レポート 令和6年度 市民活動推進講座

ユースワークから学ぶ 若者のキッカケをつくる市民活動講座

若者にとって、市民活動に参加することがどのようなキッカケにつながるのでしょうか？若者一人ひとりのやりたい！好き！を引き出し、実現できるよう伴走する「ユースワーク」の考え方や実践について学びました。



ユースワーカーの今井直人さんは、阪神淡路大震災のあった兵庫県神戸市生まれ。高校で防災を学び、大学時代に東日本大震災の被災地へボランティアを送り出すなかで、一緒に参加した若者が変わっていく姿を目の当たりにし、ユースワークの道に進んだ。尼崎市立ユース交流センターに勤め、若者が自由に過ごせる場でたくさんの中高生と接してきた。ユースワークで大切なのは、「存在の肯定」と「関係性の構築」だ。相談に乗るよ！という関わりではなく、共に過ごして仲良くなった結果、相談ややりたいことを引き出せる。相談の中には福祉サービスにつなぐケースもあり、誰でも来られるユースセンターは、困難を抱える若者を発見できる場にもなる。

日本の若者は「誰にも相談しない」と言われている。共働き世帯の増加や教員の多忙化によって、家庭も学校も若者の声を聴く余裕がない。中高生の自殺は後を絶たず、孤独感や自信の無さから自分はいなくてもいい人間だと本気で思っている。また、やりたいことがないという子も多い。やりたいことを言って否定された経験からやりたいと言えなくなっている。そんな中高生たちと接するとき、あなたの話を聴きたいと伝え、とにかく聴くようにしている。やりたいと思ったことを、SNS の情報を見てやる前に諦めてしまう子もいる。「やりたいことが言えない状態」と「リアルな体験数が少ない状況」をどう取り除くかを意識している。

近年、若者が地域で活動する機会が増えてきている一方で、若者と地域がお互いに消費し合ってしまう現状がある。若者は進学に使えるからと活動に参加するも、地域との関わりも短期間でそれきりに。また、自分のための探究なのに、評価を気にして大人が喜びそうな正解を探そうとする若者もいる。そうではなく、若者のやりたい！好き！を原動力にした活動を地域でどう実現するかを考え、自分の想いと地域の想いを大切にし、気づいたら社会がよくなることにつながっている！という生産的（クリエイティブ）な活動にしていけることが重要。



【クロストーク】今井直人さん×木下峻志さん（特別養護老人ホーム蔵の街ひまわり）×浅野暖斗（くらら） 蔵の街ひまわりでは、子ども食堂に高校生ボランティアを受け入れています。若者のモチベーションの変化に対してどうコーディネートするといったのかという話題に。団体の想いと若者の想いを把握し、両方に伝えられる存在が大切で、若者には「あなたを必要としている人がいる」というメッセージを伝えることが重要。

今年4月に独立した今井さんは、地元の神戸市長田区にある実家をユースセンターに改装。若者が地域の人たちと出会い、多様な経験を重ね、若者の成長と幸福を共創できる「まちごとユースセンター」を目指して。

とちぎ市民活動推進センターくららとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00

休館日 水曜日・年末年始

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館内

TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132

E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp

ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



※くららは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています

編集後記

ついこの前家の本棚を整理していたら、手放したと思っていた本が何冊も出てきました。どの本も思い出があり、古本屋に売ってもできずに段ボール箱で眠っていました。どなたに譲ろうか等あーでもないこーでもないと思案中。(大塚)

登録団体数：235団体

会員数：20,933名

(令和6年6月1日時点)